

リアルタイム情報、浸水想定区域図、洪水ハザードマップの3つをまず知ってもらいたい理由



鬼怒川、小貝川が 氾濫しないとも限らない。 —— 過去の洪水の記録と治水。

過去の洪水－小貝川の場合

小貝川の地形、気象条件：

小貝川流域は平地が多く、また川の勾配がゆるやかなため、出水時の流出時間が長く水が引きにくい、また利根川の逆流の影響を受けやすいという特徴があります。

小貝川流域の気象条件としては、降水量は1,000～1,300mm/年となっており、冬の降雪はほとんど見られません。全流域が内陸部にあたり、標高による気温格差が大きく、地形が複雑なため、山間部と平野部ではおよそ5度以上の差が見られます。

小貝川的主要洪水：

昭和56(1981)年8月の洪水

利根川本川の逆流により、小貝川下流部で堤防が決壊、多くの家屋が浸水被害に見舞われました。



堤防が決壊し、流域に濁流に流れ込んだ

平成16(2004)年10月の洪水

台風23号がもたらした強風や大雨により小貝川が増水しました。



小貝川的主要洪水履歴

発生年月	主要浸水市
昭和13(1938)年6,7月	真岡市、水海道町
昭和25(1950)年8月	龍ヶ崎市、高須村
○昭和56(1981)年8月 台風15号	龍ヶ崎市、取手市
昭和57(1982)年9月 台風18号	筑西市
○昭和61(1986)年8月 台風10号	筑西市、真岡市、常総市、下妻市
平成11(1999)年7月 前線豪雨	筑西市、市貝町、益子町
○平成16(2004)年10月 台風23号	筑西市

昭和61(1986)年8月の洪水

台風10号がもたらした豪雨は、150年に一度と言われる洪水を引き起こし、筑西市(旧下館市)の四分の一が冠水。筑西市(旧明野町)の赤浜地先や常総市(旧石下町)の本豊田地先では堤防が決壊しました。



決壊した筑西市(旧：明野町赤浜地先)



常総市(旧：石下町本豊田地先)

リアルタイム情報、浸水想定区域図、洪水ハザードマップの3つをまず知ってもらいたい理由



鬼怒川、小貝川が 氾濫しないとも限らない。 —— 過去の洪水の記録と治水。

鬼怒川、小貝川は、過去に何度も氾濫し、被害を引き起こしています。平成に入ってから幾度か流域を浸水させています。局地的な集中豪雨がひんぱんな昨今、その危険性は増しているともいえます。そこで過去の洪水に学び、どのような被害の可能性があるかを考えてみましょう。

過去の洪水－鬼怒川の場合

鬼怒川の地形、気象条件：

鬼怒川は、その上流に急峻な山々が連なり、川の勾配も大きく、降雨の影響を受けやすい特徴があります。

鬼怒川流域の気象条件としては、年間降水量が、源流域の山岳部で1,600mm～2,100mm、平野部1,100mm～1,500mmと、かなり差が開いているのが特徴です。また、山岳部には降雪もあり、10cm以上の積雪は、30日～50日にもなります。

鬼怒川の過去の主な洪水履歴

発生年月	主な浸水市
○昭和13年9月(1938)	筑西市
昭和24年8月(1949)	さくら市
○平成14年7月(2002) 台風7号	常総市

鬼怒川の主な洪水：

昭和13(1938)年9月の洪水

台風による出水により、渡良瀬川そして鬼怒川が大洪水となりました。このふたつの川が合流したことにより、利根川上流の栗橋では水位が計画高水位より60cm 以上も上回りました。この洪水による死傷者は、関東全域で 328 人に及びました。



(左) 堤防をはさんで左が鬼怒川、右が堤防より居住地側。ほとんど見分けがつかない

(右) 筑西市下館駅前のようす

平成14(2002)年7月の洪水

台風6号と、その接近に伴って活発化した梅雨前線の影響により、7月9日から11日にかけて東海地方から東北地方の広い範囲で大雨となり、鬼怒川にも大きな爪痕を残しました。



(左) 東蓼沼橋

(右) 河口から18km地点の左岸のようす

リアルタイム情報、浸水想定区域図、洪水ハザードマップの3つをまず知ってもらいたい理由

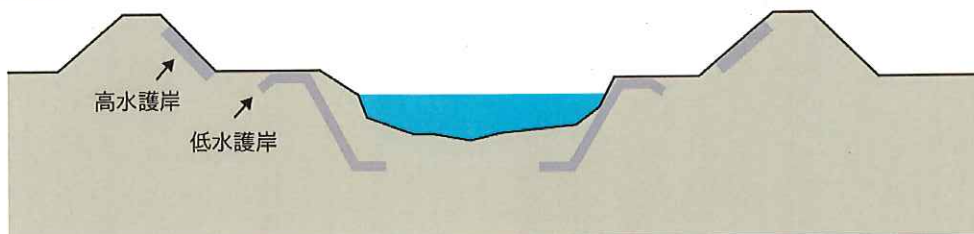


鬼怒川、小貝川が 氾濫しないとも限らない。 —— 過去の洪水の記録と治水。

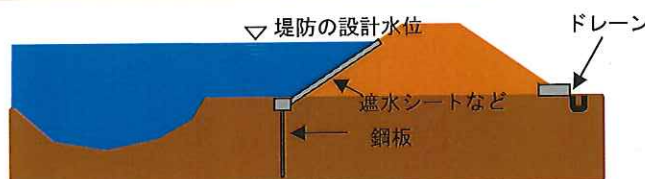
鬼怒川、小貝川の過去の洪水被害を教訓として、下館河川事務所では**さまざまな治水整備**を行っています。また、洪水対応の訓練を実施するなど、**水防対策**にも力を入れています。

河川の整備

護岸の設置 洪水により河岸や堤防が削られないよう護岸を設置しています。



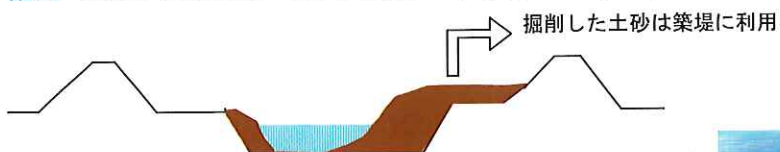
堤防強化 堤防に水が浸透しないよう、水を抜けやすくするドレーンを設置したり、堤防の幅を広げたりしています。



築堤 堤防の高さや幅が不足している区間では、土を盛って高さを幅を確保する工事を行っています。



掘削 川底や河原の高いところを掘る工事を行っています。



母子島(はこじま)遊水地 昭和61(1986)年の洪水を契機に、被害の大きかった母子島地区を遊水地に造成しました。その地区内に点在していた5集落を集団移転させ、遊水地内に新しい町をつくるという全国でも例のない改修事業を行いました。



母子島遊水地の状況



水防演習 平成26年5月に第63回利根川水系連合・総合水防が鬼怒川河川敷で行われました。治水整備の限界を補い、被害を少しでも抑える上で水防と治水は両輪といえます。

リアルタイム情報、浸水想定区域図、洪水ハザードマップの3つをまず知ってもらいたい理由



鬼怒川、小貝川が
氾濫しないとも限らない。

——— 過去の洪水の記録と治水。

過去の洪水被害に学び、どのような治水整備が行われてきたかを知ること、洪水時に自分や家族の身を守るには、自助努力も必要であることが理解していただけるかと思います。

そのためにはどのような情報がどこにいけば見られるのかを、今から知っておくことが大事です。知っているのと知らないのとでは、いざというときの対応に大きな差が出ます。

洪水に備えて

●雨量のリアルタイム情報は…



XバンドMPレーダー雨量情報

近年の豪雨対策として、より早く、より詳細に観測できる、XバンドMPレーダー雨量観測を運用しています。

●雨量と水位のリアルタイム情報は…



川の防災情報

全国の雨量、水位、水質、積雪などのリアルタイムデータを見ることができます。

●地上デジタル放送による河川防災情報

NHK地上デジタル放送(データ放送)において、リアルタイムで近くの河川の雨量や水位を確認することができます。リモコンのdボタンを押して「河川・水位情報」を選択してください。

●鬼怒川・小貝川雨量・水位電話サービス

電話にて、雨量・水位情報を確認することができます。

TEL.0296-25-2180

その他、お住まいの自治体のホームページもごらんください！



ふだんからハザードマップをチェックしたり、持ち出し品を準備したり
個人や家庭単位で、水害に備えましょう！